

CONTENTS

1 巻頭エッセイ 望まれる大統領のリーダーシップ強化

尾村敬二

特集 インドネシア・ユドヨノ政権の1年

2 ●はじめに—ユドヨノ政権の一年を振り返る

松井和久

第Ⅰ部—「成長」へ向けた政策と課題

6 ●「成長」を目指すユドヨノ政権の苦難

佐藤百合

10 ●投資誘致と投資環境改善は進むのか

桑原 繁

13 ●高まるインフラ開発への期待とその障壁

石田正美

16 ●ユドヨノ政権は国内資金を活用できるか

濱田美紀

19 ●優しい開発、苛烈な開発—農村における移動精米業の出現をめぐって

米倉 等

第Ⅱ部—「安定」へ向けた政策と課題

22 ●安定を目指す「強くて弱い」政権

松井和久

26 ●汚職撲滅は進むのか

川村晃一

29 ●ユドヨノ政権における国軍改革への再挑戦

本名 純

32 ●アチェ和平は進むのか

河野 毅

35 ●地方分権化は根づき始めたのか

松井和久

38 ●2005年地方首长直接選挙—地方政治・行政はどう変わるのか

岡本正明

41 分析レポート

「東アジア共同体」構想の行方と中国外交

松本はる香

48 フォト・エッセイ

国境と道—インド北東地域を訪ねて

村山真弓

52 カルチャー・ショック

外国人のみた日本 建物にみる日本の発展

陳 虹

日本人のみた外国 シベリアの蚊

原島 梓

54 ブックシェルフ

新刊紹介／松井和久・川村晃一編『インドネシア総選挙と新政権の始動—メガワティからユドヨノへ』

松井和久

新刊紹介／佐藤元彦編『貧困緩和・解消の国際政治経済学』

野上裕生

新刊紹介／天川直子・山田紀彦編『ラオス 一党支配体制下の市場経済化』

天川直子

レファレンスコーナー／「韓流」ブームと韓国関連本

野田美代子

58 アジア各国・地域 経済統計

図書館資料サービス課

67 『アジア研究ワールド・トレンド』2005年1月～12月記事総目録

68 研究所だより

◆表紙写真：インドネシア・ジョグジャカルタのマリオボロ通り（写真提供：世界文化フォト、撮影：上田孝行）

◆本誌に掲載されている記事などの内容や意見は、外部原稿を含め、執筆者個人に属し、日本貿易振興機構あるいはアジア経済研究所の公式見解を示すものではありません。

平成 17 年度 日本貿易振興機構アジア経済研究所 職員募集要項

- 職種・応募資格**
1. 調査研究 : 大学院修士課程修了以上の学歴を有する者（平成 18 年 3 月修了見込みの者を含む）で、以下の分野の業務に従事できる者。
①地域研究（アジア、中東、北アフリカ）②開発研究（貿易・投資、産業集積等）
 2. ライブラリアン : 大学院修士課程修了以上の学歴を有する者（平成 18 年 3 月修了見込みの者を含む）、又は図書館での相当の勤務経験を有する者。

募集人員 若干名

- 応募手続**
1. 提出書類等
共通(1)履歴書（写真貼付。研究所指定様式。ダウンロード可。または、研究所に直接ご請求下さい。調査研究職は「本人希望記入欄」に希望分野を明記のこと。）
(2)学業成績証明書（学部以上すべての証明書。コピー不可。）
(3)卒業・修了（見込み）証明書（学部以上すべての証明書。コピー不可。）
(4)志望動機作文（A4 版用紙 1 枚ワープロ打）
(5)返信用封筒（長形 3 号。80 円切手貼付の上、住所、氏名を明記）
調査研究 : 業績リスト及び主な論文（著書、論文がある場合）
ライブラリアン : 司書資格取得に関する証明書（取得者のみ）、職務経歴書（書式任意）
 2. 応募方法
下記問合せ先へ郵送、又は持参。郵送の場合、封筒の表に「応募書類在中」と朱書のこと。なお、応募書類の返却はいたしません。
 3. 応募期間
平成 17 年 11 月 28 日（月）から 12 月 14 日（水）まで〈必着〉
 4. 受付時間
平日午前 10 時から午後 5 時まで（土日祝は休み）

- 選 考**
1. 応募締切後、書類選考を行い、合格者には別途連絡する。
書類選考合格者に対し、下記により筆記試験を行う。
日 時 平成 18 年 1 月 11 日（水）13:30 開始
場 所 当研究所
試験科目 調査研究 ①専門科目（経済）②小論文 ③英語
ライブラリアン ①教養 ②小論文 ③英語
※調査研究職については①、②を英語で回答する場合のみ③を免除。また、海外に在住する者は、筆記試験の代わりに論文（英文）提出による選考を受けることも可。その際、1 月時点で海外在住が証明できるものを添付すること。
いずれも希望する場合は、履歴書の「本人希望記入欄」にその旨を明記すること。
 2. 筆記試験合格者に対して、後日面接試験を実施。
 3. 勤務開始は平成 18 年 4 月 1 日（予定）

待 遇 本機構の規定による。

応募書類の提出先及び問合せ先

〒261-8545 千葉県千葉市美浜区若葉 3-2-2

日本貿易振興機構 アジア経済研究所 研究企画部 研究人材課

ホームページ : <http://www.ide.go.jp> メールアドレス : jinzai@ide.go.jp

※問い合わせは上記メール宛まで。内容に関する事項については一切お答えできません。

—研究所だより—



▼出版物のご案内

●研究双書

- * No. 544 川中豪編『ポスト・エドサ期のフィリピン』二、九四〇円(税込)
- * No. 545 天川直子・山田紀彦編『ラオス 一党支配体制下の市場経済化』三、一五〇円(税込)
- * No. 546 藤田幸一編『ミャンマー移行経済の変容—市場と統制のはざま—』四、〇九五円(税込)
- * No. 547 佐々木智弘編『現代中国の政治変容—構造的変化とアクターの多様化』三、一五〇円(税込)
- 『ラテンアメリカレポート』Vol. 22 No. 2 八四〇円(税込)
- * 問合せ・申込先 研究支援部成果普及課(販売担当直通)

『アジア経済』第46巻第11・12号

12月15日発売 2,100円(税込)

発展途上地域に関する理論機関誌
論文、研究ノート、学界展望、書評、紹介等掲載

*ご購入・お問い合わせは、成果普及課まで
(電話：043-299-9735 FAX：043-299-9736)

TEL: 043-299-9735

FAX: 043-299-9736

*研究所出版物は図書館1階のブックストアでもお求めになれます。どうぞご利用下さい。

(営業日時: 月・水・金及び第1・第3土曜日 10:00~17:00 図書館休日は休業)

▼最近の主な海外来訪者

*マレーシア Mr. Mohd Hasnol Ayub
(統一マレー人国民組織青年部中央執行委員) 他3名 10月3日

都心に「アジ研図書館サテライト」

アジ研図書館に来館できない方のために、赤坂アークヒルズのジェットロ・ビジネスライブラリー内にアジア経済研究所図書館サテライトを設置しております。
どうぞお気軽にご利用ください。

<主なサービス>

- テレビ電話による開発途上国関係資料に関するレファレンス
- アジ研図書館所蔵資料の閲覧(予約申込みが必要)
- 文献複写サービス
- アジ研出版物、講演会などのご案内

開館時間: 9:00~17:00

休館日: 土日・祝日・第3火曜日 年末年始

所在地: 〒107-6006 東京都港区赤坂1-12-3 アークヒルズ・アーク森ビル6階

TEL: 03-3582-1775 FAX: 03-3582-7014

URL: <http://www.jetro.go.jp/>

最寄駅: 地下鉄 六本木一丁目駅、溜池山王駅より徒歩1分

『アジ研ワールド・トレンド』 第11巻第12号 通巻123号

2005年12月1日発行

編集・発行

日本貿易振興機構 アジア経済研究所
研究支援部

〒261-8545 千葉市美浜区若葉3丁目2番2

TEL 043 (299) 9735 FAX 043 (299) 9736

<http://www.ide.go.jp>

印刷

広研印刷株式会社

▼次号の特集は「人間の安全保障」です。

▼アジア経済研究所賛助会個人利用会員募集中です。

*年会費: 一口 1万円

*サービス内容: 月刊誌『アジ研ワールド・トレンド』送付、講演会・セミナーなどのご案内、各種料金の割引など。
*問合せ・申込先 研究支援部成果普及課(賛助会担当)

TEL: 043-299-9536

FAX: 043-299-9726

記事総目録

済化』／天川直子 (123) 2005.12

(レファレンスコーナー)

マイクロフィルム瞥見 その2／池田一基 (112) 2005.1
World Bank, *Global Development Finance 2004: Harnessing the Cyclical Gains for Development*
／野上裕生 (113) 2005.2
教育と開発／加藤真穂 (113) 2005.2
アーカイブズを知るために／村井友子 (114) 2005.3
東南アジアの大都市論／高橋宗生 (115) 2005.4
グローバル化と国際労働力移動／菅原房子 (116) 2005.5
インターネットで探す旧植民地関係資料／狩野修二 (117) 2005.6
アジア図書館サテライト（赤坂）オープン／二階宏之 (118) 2005.7

中国の食品産業－多様化と安全性／澤田裕子 (119) 2005.8
貿易実務関連資料／横瀬美保 (120) 2005.9
ウェブで探す石油関連情報／泉沢久美子 (121) 2005.10
シンガポールの情報化政策／青柳英治 (122) 2005.11
「韓流」ブームと韓国関連本／野田美代子 (123) 2005.12

●その他

《セミナー報告》

二国間協定から多国間協定へー台湾の WTO 加盟のケース
／陳添枝 (118) 2005.7
アジア各国・地域 経済統計 (1999～2004 年 8 月)
／図書館資料サービス課 (112) 2005.1
アジア各国・地域 経済統計 (1999～2004 年 9 月)
／図書館資料サービス課 (113) 2005.2
アジア各国・地域 経済統計 (1999～2004 年 10 月)
／図書館資料サービス課 (114) 2005.3
アジア各国・地域 経済統計 (1999～2004 年 11 月)
／図書館資料サービス課 (115) 2005.4
アジア各国・地域 経済統計 (2000～2004 年 12 月)
／図書館資料サービス課 (116) 2005.5
アジア各国・地域 経済統計 (2000～2005 年 1 月)
／図書館資料サービス課 (117) 2005.6
アジア各国・地域 経済統計 (2000～2005 年 2 月)

／図書館資料サービス課 (118) 2005.7
アジア各国・地域 経済統計 (2000～2005 年 3 月)
／図書館資料サービス課 (119) 2005.8
アジア各国・地域 経済統計 (2000～2005 年 4 月)
／図書館資料サービス課 (120) 2005.9
アジア各国・地域 経済統計 (2000～2005 年 5 月)
／図書館資料サービス課 (121) 2005.10
アジア各国・地域 経済統計 (2000～2005 年 6 月)
／図書館資料サービス課 (122) 2005.11
アジア各国・地域 経済統計 (2000～2005 年 7 月)
／図書館資料サービス課 (123) 2005.12

記事総目録

歩みはじめた和平への道／久野武志	(115) 2005.4
アフガニスタンを蝕むケシの花／桜木武史	(116) 2005.5
カンボジアに灯る希望の光／池口洋之	(117) 2005.6
遊牧民とラマダン／常見藤代	(118) 2005.7
「ディスコ」に行こう！／菅原純	(119) 2005.8
「小チベット」ラダックへの冬の旅／船尾修	(120) 2005.9
街の陰影－イランの道を行く	
／エリック・レヒシュタイナー	(121) 2005.10
淮河「生態災難」の村々に焦点をあわせて／霍岱珊	(122) 2005.11
国境と道－インド北東地域を訪ねて／村山真弓	(123) 2005.12

●カルチャー・ショック

(外国人のみた日本)

変わらぬモノ・変わるモノ／鄭建溶	(112) 2005.1
イチロー、彼は異星人なのか／金珉	(113) 2005.2
金のかごの中の鳥／ソディキン・バイドウィ	(114) 2005.3
久しぶりの日本で感じたこと／任千錫	(115) 2005.4
日本－遠いところ、近いところ／グエン・カック・フン	(116) 2005.5
「ガイジン」からみた特別な日本	
／イブラヒム・オズトゥルク	(117) 2005.6
日本のイメージと現実	
／ニコライ・トリフォノフ・ナイデノフ	(118) 2005.7
実際の日本人／スール・ヘン	(119) 2005.8
「タダ」より高い物はない／孟渤	(120) 2005.9
来日初日に！／ヨハンナ・ファン・ヘーデル	(121) 2005.10
日本に対する私の印象	
／ベッタダリ・チャンドヤシャカル・ニーラカンタ	(122) 2005.11
建物にみる日本の発展／陳虹	(123) 2005.12

(日本人のみた外国)

フィリピンの医療事情／吉田健太郎	(112) 2005.1
トゥンくん和ダンさんのこと／吉田暢	(113) 2005.2
14年後のフィリピンを訪ねて／岡本裕介	(114) 2005.3

シン・カム・オン／荒神衣美	(115) 2005.4
セレナタの思い出／村井友子	(116) 2005.5
日本語に思う「国際化」／石戸光	(117) 2005.6
インターネットと「党の国」／藤崎成昭	(118) 2005.7
便座の謎－旧ソ連トイレ事情／岡奈津子	(119) 2005.8
通訳を探して／山田七絵	(120) 2005.9
中国の全寮制（？）幼稚園／伊藤えりか	(121) 2005.10
市井の「営み」－ハノイ市／寺本実	(122) 2005.11
シベリアの蚊／原島梓	(123) 2005.12

●ブックシェルフ

(新刊紹介)

『インドネシアの経済再編』／佐藤百合	(112) 2005.1
天川直子編『カンボジア新時代』／天川直子	(113) 2005.2
松岡俊二編『国際開発研究－自立的発展に向けた新たな挑戦－』／野上裕生	(114) 2005.3
平野克己編『アフリカ経済実証分析』／平野克己	(115) 2005.4
山田俊一編『エジプトの開発戦略と FTA 政策』	
／山田俊一	(116) 2005.5
今泉慎也・安倍誠編『東アジアの企業統治と企業法制改革』／今泉慎也	(117) 2005.6
寺尾忠能・大塚健司編『アジアにおける環境政策と社会変動』／寺尾忠能	(119) 2005.8
ヴィレム・フォーヘルサング著、前田耕作・山内和也監訳『アフガニスタンの歴史と文化』／鈴木均	(119) 2005.8
石田正美編『インドネシア再生への挑戦』／石田正美	(120) 2005.9
アジア経済研究所企画・鈴木均編著『ハンドブック現代アフガニスタン』／牧野百恵	(121) 2005.10
小島道一編『アジアにおける循環資源貿易』／小島道一	(122) 2005.11
松井和久・川村晃一編『インドネシア総選挙と新政権の始動－メガワティからユドヨノへ』／松井和久	(123) 2005.12
佐藤元彦編『貧困緩和・解消の国際政治経済学』	
／野上裕生	(123) 2005.12
天川直子・山田紀彦編『ラオス 一党支配体制下の市場経	

記事総目録

／中村玲子 (122) 2005.11

《インドネシア・ユドヨノ政権の1年》

はじめに－ユドヨノ政権の一年を振り返る／松井和久
(123) 2005.12

「成長」を目指すユドヨノ政権の苦難／佐藤百合
(123) 2005.12

投資誘致と投資環境改善は進むのか／桑原繁
(123) 2005.12

高まるインフラ開発への期待とその障壁／石田正美
(123) 2005.12

ユドヨノ政権は国内資金を活用できるか／濱田美紀
(123) 2005.12

優しい開発、苛烈な開発－農村における移動精米業の出現
をめぐって／米倉等 (123) 2005.12

安定を目指す「強くて弱い」政権／松井和久
(123) 2005.12

汚職撲滅は進むのか／川村晃一 (123) 2005.12

ユドヨノ政権における国軍改革への再挑戦／本名純
(123) 2005.12

アチュ和平は進むのか／河野毅 (123) 2005.12

地方分権化は根づき始めたのか／松井和久 (123) 2005.12

2005年地方首長直接選挙－地方政治・行政はどう変わる
のか／岡本正明 (123) 2005.12

●トレンド・レポート

再評価を迫られる中国淮河流域の水汚染対策／大塚健司
(112) 2005.1

シンガポールの首相交代－ねらいと行方／岩崎育夫
(112) 2005.1

文化的自由と多様性－『人間開発報告書 2004』
／野上裕生 (112) 2005.1

タイの中小企業政策とタクシン政権／東茂樹 (113) 2005.2

韓国における国家保安法の改廃論議－民主化と国家アイデ
ンティティの相克／石崎菜生 (113) 2005.2

中国の東北振興策－吉林省の取り組み／王彦軍 (115) 2005.4

タイの総選挙－与党はなぜ圧勝したのか／玉田芳史
(116) 2005.5

違法伐採対策－超えられるか WTO ルールの壁／加藤学

(116) 2005.5

中国による反国家分裂法制定と台湾野党党首の中国訪問
／竹内孝之 (119) 2005.8

最後の国民大会と台湾の憲法改正問題／竹内孝之
(119) 2005.8

香港行政長官の交代劇－「高度の自治」と民主のゆくえ
／倉田徹 (120) 2005.9

●2004年アジアの選挙

インドネシア大統領選挙決選投票－「変化」を求めた国民
／川村晃一 (112) 2005.1

台湾立法委員選挙－野党の勝利は本物か／竹内孝之
(114) 2005.3

●分析レポート

インドネシアにおけるガバナンス改革の現状とユドヨノ政
権の対策／小山田英治 (113) 2005.2

ウクライナ 2004年大統領選挙－オレンジ革命の行方
／栗原典子 (115) 2005.4

ベトナム地方選挙と第六回祖国戦線大会／寺本実
(118) 2005.7

イラク移行政権と国民議会構成にみる戦後イラクの政治勢
力／酒井啓子 (118) 2005.7

米国による経済制裁発動後のミャンマー縫製産業
／工藤年博 (120) 2005.9

「東アジア共同体」構想の行方と中国外交／松本はる香
(123) 2005.12

●現地レポート

オーストラリア総選挙と究極のお受験／塩田光喜
(116) 2005.5

●フォト・エッセイ

2004年インドネシアの選挙－「お祭り」は終わった
／川村晃一 (112) 2005.1

世界遺産に登録された街・ハバナーオリシャ信仰に触れた
／酒井透 (113) 2005.2

紛争地のなかの日常 カシミールの人々／船尾修
(114) 2005.3

記事総目録

韓国／通貨危機後のグループ再編－LGの持株会社制導入と系列分離／安倍誠 (119) 2005.8
台湾／二代目の苦悩－遠東グループの徐家と和信グループの専家／川上桃子 (119) 2005.8
タイ／創業者一族・内部昇進者・外部リクルート者の「三者結合」／末廣昭 (119) 2005.8
メキシコ／ネオリベラル改革下の新興ファミリービジネスの台頭－カルロス・スリムとカルソ／星野妙子 (119) 2005.8
ベネズエラ／勝ち組ファミリービジネス・ボラルの多角化戦略と産業特性／坂口安紀 (119) 2005.8
ペルー／ファミリー外の資金と人材の活用－ロメロ・グループ／清水達也 (119) 2005.8
チリ／ファミリーによる企業支配のメカニズムと企業統治改革／北野浩一 (119) 2005.8

《エンパワーメント再考》

特集にあたって－エンパワーメントをめぐる論点／佐藤寛 (120) 2005.9
開発援助とエンパワーメント論の系譜／太田美帆 (120) 2005.9
当事者が定義するエンパワーメントへ向けて－東ティモール・コミュニティ・エンパワーメントプロジェクトを事例として／蜂須賀真由美 (120) 2005.9
カンボジアの農民が動き出した－農村開発プロジェクトをととした農民のエンパワーメントの事例から／功聡子 (120) 2005.9
ネパール集落コミュニティのエンパワーメント－金融組織の変遷を手がかりに／辰巳佳寿子 (120) 2005.9
ドミニカ共和国カニタス地区の事例－「指示棒」はどこにあったのか？／桃井拓真 (120) 2005.9
インド農村女性のエンパワーメント－女性酪農協同組合の事例から／秋吉恵 (120) 2005.9
農村女性のエンパワーメントとエンパワーメント評価－南米パラグアイにおける生活改善プロジェクトの事例から考える／藤掛洋子 (120) 2005.9
開発援助における「社会的準備」とエンパワーメント／池野雅文 (120) 2005.9
何が起ると「エンパワーメント」は達成されるのか

／佐藤寛 (120) 2005.9

《キューバ政治・経済の現状》

特集にあたって／山岡加奈子 (121) 2005.10
キューバの対外経済関係
／カティア・デ・リャノ＝クエスタ (121) 2005.10
キューバ経済における脱ドル化の試み－経緯と展望
／イラム・マルケッティ＝ノダールセ (121) 2005.10
キューバにおける国家輸出戦略の展開
／グラディス・セシリア・エルナンデス＝ペドラサ (121) 2005.10
米国の対キューバ経済封鎖は終りに向かっているのか？
／エステバン・モラレス＝ドミンゲス (121) 2005.10
米・キューバ関係の展望／宇野健也 (121) 2005.10
「ポスト・カストロ」をめぐる諸議論とキューバにおける体制継承準備／小池康弘 (121) 2005.10
キューバ社会主義政権の権力基盤とベトナム型改革の可能性／山岡加奈子 (121) 2005.10

《中国における持続可能な流域ガバナンスと国際協力》

特集にあたって－日米中共同研究を踏まえて／大塚健司 (122) 2005.11
中国における持続可能な流域ガバナンスと国際協力
／大塚健司 (122) 2005.11
中国における流域管理の制度改革と課題／片岡直樹 (122) 2005.11
中国における参加型灌漑管理の現状と課題／山田七絵 (122) 2005.11
中国の流域環境保全における公衆参加と報道機関の役割
／胡勘平・于曉剛 (122) 2005.11
国際河川流域国家としての中国の虚像と実像
／中山幹康・大西香世 (122) 2005.11
琵琶湖・淀川水系における流域管理の経験と課題
／中村正久 (122) 2005.11
持続可能な流域管理のための費用負担と参加－日本における水源環境税の導入過程からの示唆／藤田香 (122) 2005.11
ラムサールセンターのアジアと中国における活動

記事総目録

／石井美千子 (114) 2005.3

《国際シンポジウム「グローバル化と地域統合－空間経済学の視点から」》

特集にあたって／浜口伸明 (115) 2005.4

新しい経済地理学－私たちはどこに？

／ポール・クルーグマン (115) 2005.4

ヨーロッパにおける地域統合／アンソニー・ベナブルズ (115) 2005.4

東アジア地域経済の将来／藤田昌久 (115) 2005.4

中国から見た東アジア地域統合／余永定 (115) 2005.4

韓国から見た東アジア地域統合／金暎漢 (115) 2005.4

タイから見た東アジア地域統合

／バーヌボン・ニティプラパー (115) 2005.4

パネルディスカッション (115) 2005.4

《地域研究の現場から》

韓国－新たな段階にふさわしい新たな視点・方法を

／安倍誠 (116) 2005.5

中国－より深い他者理解を目指して／大原盛樹 (116) 2005.5

台湾－革新を如何に理解するかを模索して／佐藤幸人 (116) 2005.5

フィリピン－伝統的組織の論理と開発／野沢勝美 (116) 2005.5

マレーシア－ラッキー・カントリーの憂鬱／熊谷聡 (116) 2005.5

インドネシア－ワヤンの世界が教えてくれるもの

／川村晃一 (116) 2005.5

インド－農村開発の現状と地域研究／近藤則夫 (116) 2005.5

イラン－「本格派」を目指すべし／岩崎葉子 (116) 2005.5

ガーナ－アフリカの水を飲んだものは…／高根務 (116) 2005.5

コートディヴォワール－植民地から「20世紀世界」へ

／佐藤章 (116) 2005.5

キューバ－理想と現実、本音と建前のはざま

／山岡加奈子 (116) 2005.5

《「貧困」で学ぶ開発－諸学の協働》

「貧困」で学ぶ開発学－特集に当たって／野上裕生

(117) 2005.6

貧困の民俗学－日本の貧困と貧困対策史／佐藤寛

(117) 2005.6

貧困の政治経済学－政治参加と貧困／東方孝之

(117) 2005.6

貧困の人口学－「貧困の罟」と生活の質／野上裕生

(117) 2005.6

貧困の市場開拓学－貧困層を顧客とするビジネス

／中村まり (117) 2005.6

貧困の社会学－「社会的排除」と貧困問題・ラテンアメリカを中心に／近田亮平 (117) 2005.6

貧困の国際政治学－「貧困削減」の背後の政治力学

／初鹿野直美 (117) 2005.6

貧困と海外就労－フィリピンの事例から／二村泰弘 (117) 2005.6

貧困の法学－開発援助における「法と貧困」／山田美和 (117) 2005.6

貧困の保健学－貧困とエイズ／稲岡恵美 (117) 2005.6

《エイズ政策の転換とアフリカ諸国の現状》

特集にあたって／牧野久美子 (118) 2005.7

エイズ政策のグローバルトレンド／河野健一郎 (118) 2005.7

ウガンダーエイズ対策「成功」国における政策と予防・啓発の果たした役割／吉田栄一 (118) 2005.7

ケニア－断裂した社会を縫い合わせる当事者・NGOの取り組み／稲場雅紀 (118) 2005.7

ザンビア－貧困とエイズの悪循環を断ち切れるか

／志澤道子 (118) 2005.7

ボツワナ－南アフリカエイズ治療規模拡大への課題

／牧野久美子 (118) 2005.7

ナイジェリア－「感染爆発」防止に動き出した人口大国

／望月克哉 (118) 2005.7

《アジアとラテンアメリカのファミリービジネス》

特集にあたって／星野妙子 (119) 2005.8

『アジア研ワールド・トレンド』

2005年1月～12月

記事総目録

(《》内は特集名、()内の数字は通巻番号)

●巻頭エッセイ

- ウイグル社会への「漢流」／梅村坦 (112) 2005.1
制度と経済発展／吉原久仁夫 (113) 2005.2
アーカイブズへの関心の高まり／石井米雄 (114) 2005.3
グローバル化と地域統合ー永遠のテーマ
／藤田昌久 (115) 2005.4
地域研究と学問的越境／佐藤宏 (116) 2005.5
「貧困の主流化」を超えて／下村恭民 (117) 2005.6
アフリカと HIV/AIDS／池上清子 (118) 2005.7
家族企業の再認識によせて／由井常彦 (119) 2005.8
パワーの奪い合いを超えよう／野田直人 (120) 2005.9
虹の彼方のキューバへの願い／宮本信生 (121) 2005.10
中国の水、日本の水／尾田栄章 (122) 2005.11
望まれる大統領のリーダーシップ強化／尾村敬二
(123) 2005.12

●特集

《ウイグル人の現在ー中国と中央アジアの間で》

- 特集にあたって／岡奈津子 (112) 2005.1
ウイグル人の歴史と現在／新免康 (112) 2005.1
ウイグルの古都ヤルカンド／堀直 (112) 2005.1
翻弄された文字文化ー現代ウイグル語の黄昏／菅原純
(112) 2005.1

新疆におけるウイグル人の民族学校

- ／リズワン・アブリミティ (112) 2005.1
儀礼的世界のウイグル女性／藤山正二郎 (112) 2005.1
カザフスタンのウイグル人／岡奈津子 (112) 2005.1
ウイグル人と大日本帝国／菅原純 (112) 2005.1

《東アジアにおける国家の制度能力と産業政策》

- 特集にあたってー制度能力をめぐる論争の経緯と理論的枠
組み／黒岩郁雄 (113) 2005.2
韓国の制度能力と産業政策ー公務員の人事とインセンティ
ブ／堀金由美 (113) 2005.2
マレーシアの制度能力と産業政策／穴沢眞 (113) 2005.2

- 輸出能力の強化を求めてータイの長い戦いから学ぶもの
／下村恭民 (113) 2005.2
機械工業振興臨時措置法と制度能力ー「二重の戦略性」を
持った戦後日本の産業政策／松島茂 (113) 2005.2
ベトナムは開発主義国家になれるか／石塚二葉
(113) 2005.2

《開発途上国のアーカイブズー記録を紡ぎ未来へ伝える》

- 特集にあたって／村井友子 (114) 2005.3
アーカイブズから考えるアジアの中の日本／安藤正人
(114) 2005.3

途上国アーカイブ支援と国際機関／小川千代子

- (114) 2005.3
歴史資料の共有を目指してーアジア歴史資料センターの試
み／牟田昌平 (114) 2005.3
中国における档案馆・档案事情／川島真／井村哲郎
(114) 2005.3

コラム 台湾の檔案資料ー現場拝見／伊藤えりか

- (114) 2005.3

インドネシアの国立公文書館紹介ーコレクションと分類

- ／菅原由美 (114) 2005.3
マレーシア国立公文書館／原不二夫 (114) 2005.3
インドのアーカイブズ事情／シトラ・プラサド
(114) 2005.3

ソ連時代の遺産と自立との狭間でークルグズ共和国中央国 家政治文書館／地田徹朗

- (114) 2005.3

トルコ・総理府オスマン文書館ー電子化に向かう途上国最 古のアーカイブズ／高松洋一

- (114) 2005.3

エジプト・国立文書館紹介／勝沼聡

- (114) 2005.3

コートディヴォワールのアーキビストたち／佐藤章

- (114) 2005.3

ブラジル・リオデジャネイロの2つの史料館／鈴木茂

- (114) 2005.3

ソロモン諸島国立アーカイブズー独立国の証として

- ／上原樹代 (114) 2005.3

アジア経済研究所図書館所蔵の記録史料の現状と今後